12月29日開催“「蒼穹のファフナー EXODUS」皆城総士生誕祭”イベントレポート | 会場：パシフィコ横浜 |

2016年12月29日、神奈川・パシフィコ横浜にてアニメ「蒼穹のファフナー」シリーズのイベント、「皆城総士生誕祭」が開催された。

メインキャラクターである皆城総士の誕生日を祝った今回のイベントでは、喜安浩平（皆城総士役）、石井真（真壁一騎役）、松本まりか（遠見真矢役）、佐々木望（皇鳥広登役）、白石稔（辻藤剣司役）、石川由依（水鏡美三香役）のメインキャスト陣に加え、「ファフナー」シリーズの主題歌を手がけるアーティストangelaも登壇するなど、豪華な顔ぶれとなった。

――今回の「皆城総士生誕祭」は、「喜安浩平卒業式」？

今回MCを務めた石井真、松本まりかの呼び込みで出演者全員が登場。出演者が各々用意された椅子に座る中、本日の主役喜安浩平には、豪華な椅子がスタッフ3人がかりでステージに用意された。他の出演者よりも一際強めのスポットライトが当てられた喜安浩平、着席後、これまでの皆城総士の年表を映像と共に振り返りながら、キャスト陣が当時の思い出話に花を咲かせた。2015年12月に放送が終了した「蒼穹のファフナー EXODUS」。年表を振り返る中で、総士は地平線の向こういき子供として転生してしまったため、今後はキャストが変更されるのではないかという憶測から、「喜安浩平・卒業」の雰囲気を出演者の言動の節々から感じることに。その雰囲気のまま、これまでの「蒼穹のファフナー」イベントでの喜安浩平の活躍の映像がスクリーンに映し出され、会場では涙する観客も。登み拝するように当日会場に来られなかった、田中正彦（真壁史彦役）、新井里美（要咲良役）、仲西隆（皆城総悟役）、岡本信彦（ジョナサン・ミツヒロ・バートランド役）、島崎信長（御門響央役）からのビデオメッセージでは、各々が喜安浩平の卒業をねぎらう言葉が、さらに続けて、登壇している出演者から、喜安浩平への別れを惜しむ手紙が読まれるという感動的なセレモニーが始まり、その メッセージを受けて喜安浩平のスピーチが始まると、いよいよ本格的に泣き出してしまう観客も出始めた。

完全にしんみりムードな会場。そんな雰囲気の中、前回の同化イベントから「超重大発表」があると告知されていた内容がついに明かされることになる。まず一つ目は、シリーズ最新作となる「蒼穹のファフナー THE BEYOND」の制作決定。初公開となったティザービジュアルには、前作「EXODUS」のラストで子どもの姿になった総士の、成長後の姿のようなキャラクターが描かれていた。ティザービジュアルをみて様々な推測をする出演者陣、そこでもう一つの重大発表があるとのことで、スクリーンには「蒼穹のファフナー」シリーズ総監督・能戸隆氏からのメッセージビデオが流れ始めた。

能戸「新作、「蒼穹のファフナー THE BEYOND」が発表されました。実はもう一つ、重大な発表があります。それは…新作の皆城総士役は、キャン（喜安浩平）に決定しました。」

この発表を受け、「喜安浩平卒業」という雰囲気に飲み込まれていた会場全体から、歓喜、感涙、そして爆笑の拍手と歓声が巻き起こった。そう、この発表までの一連の流れは、壮大なサプライズ!?だったのだ。

その後は生誕祭イベントで毎度恒例となっている石井真によるラップの披露や、誕生日ケーキの登場など、いつもの和やか（ググググ）ムードに。会場の熱気でケーキが溶れて原型を失ってしまうというきさのハプニングがあるなど、何から何までファフナーイベントらしいググググなこの日常感に、数分前に涙していたファンも笑顔を取り戻したことだろう。

そして楽しいステージも終わりの時間が近づき、本日のイベントの振り返りや、次回作への意気込みなどを思い思いに述べ、幕が閉じられた。しかし、ここで客席からは「アンコール」が。照明がつき、現れたのはangela。そう、二人が歌わず終わるわけがないだろう。ライブコーナーの始まりである。

angelaによる「Peace of mind」は客席のファンとの大合唱に包まれ、続けて歴代「ファフナー」の主題歌メドレーにファンは総立ちで飛び跳ねん、盛り上がった。続いて佐々木望の「全力LOVE」で披露されたポップなダンスに会場もウキウキモードに。その後の石井真は力強く「Flugel」を歌い上げ、それぞれが持ち曲を熱唱した。そして最後は、以前より石井真含むファン全員が切望していた真壁一騎と皆城総士のデュエットソング「太陽と月」を出演者全員と客席が一つとなって歌い、ライブコーナーは大盛況に終わった。

「蒼穹のファフナーはまだまだ終わりませんよ!これからも宜しくお願いします!!」という石井真からの力強い言葉で出演者一同は退場した。その後、イベント最後のサプライズが待っていた。「蒼穹のファフナー THE BEYOND」のティザーPVが公開となったのだ。名劇染のキャラクター達の成長した姿が登場する度に大きな歓声が上がり、来場客は続報に大きな期待を寄せ、帰途についたに違いない。

| TV第1シーズ |

フェストゥムと竜宮島、そして、新国連との三つ巴の戦いを、島に住む人々の人間模様を交えながら描く、SF群像劇。

2146年、東京から遠く離れた島・竜宮島に、敵が襲来。島に住む中学生・真壁一騎（CV.石井真）は敵の正体も知らされぬまま、人型兵器・ファフナーに乗せられ、戦いに巻き込まれる。彼を支えるのは、かつての友・皆城総士（CV.喜安浩平）。2人はシステムによって感情と痛みを共有し、敵に立ち向かうが……。

フェストゥムとは何なのか、島はなぜ造られ、何から逃げているのか、その謎が明らかになったとき、物語は予想もしなかった展開を迎える。

| RIGHT OF LEFT |

島にフェストゥムが現れる約1年前。一部の職員によって極秘に実行に移された作戦・L計画。その作戦の経緯を通して、島々々たちに戦い、殺っていった人々の葛藤と生き様を記録する。TVスペシャル。

主人公は、一騎たちの1年先輩である羽佐間（CV.宮野真守）。島の使命を知る彼は、中学卒業後、L計画への参加を決めていた。女友だちである生野祐未（CV.甲斐田裕子）は、ある日、封印されていた記憶が甦り……？

子供の命を犠牲にしながら運用される、「ファフナー」という兵器に対する疑問も投げかけられる。

| HEAVEN AND EARTH |

「RIGHT OF LEFT」から5年の時を経て制作された、劇場公開作品。一騎と総士の絆と、総士生存の可能性、そして、竜宮島形の自然交配で誕生した少女・日野美羽（CV.諸星すみれ）の未知の能力を探る。

第一次蒼穹作戦から2年。再び世界から姿を消した竜宮島は、東京湾の平和を取りもどしていた。だが、夏祭りの夜、シールドを解除した湾内に、人類軍の潜水艦が侵入。艦内には1人の少年・来主操（CV.木村良平）が眠っていた。事態を把握した一騎は、総士が送ってきたメッセージに従い、再びファフナーに乗る。

| EXODUS |

新たに到来する純粋ミールをめぐり、エスペラント、新国連、フェストゥムが織烈な争いを繰り広げる、TVシリーズ第2弾。故郷を追われた無民たちの逃避行を通じて、戦いがもたらす様々な矛盾にも言及する。

2151年、エスペラントと名乗る人類軍兵士が竜宮島を訪れる。彼らはミールの言葉を解する、新世代の人間だった。人類軍将軍・チレイ=は、純粋ミールとの接触のため、日野美羽の力を貸してほしいと要請。島は来羽を含む数名の派遣部隊を、彼らのミールが根付いたという地へ派遣する。

© XEBEC・ファフナー・L
© XEBEC・PLAN L
© XEBEC/FAFNER PROJECT
© XEBEC・FAFNER EXODUS PROJECT

KING RECORDS

© XEBEC・FAFNER BEYOND PROJECT

新作「蒼穹のファフナー THE BEYOND（ザ ビヨンド）」制作決定!!

キャストインタビュー

〈石井 真〉（真壁一騎役）

ついに!新作「蒼穹のファフナー THE BEYOND」の制作が決定しましたが、今のお気持ちを聞かせて下さい。

また、大きく物語が動き出す様ですね。どんな状況に投入されても応えられる様にいられたらと思います。

沢山のシーズンがある「蒼穹のファフナー」ですが、初めて観る方へ何かアドバイスをいただけますでしょうか。

ゆっくり観てください。

自身にとって「ファフナー」とはどのような存在でしょうか。

ずっと挑戦して行かなきゃいけないもの、です!

最後に、作品を楽しみにしているファンの方へのメッセージをお願いします!

小さな陽ざまりですらず愛おしく感じられる作品です。
そんな人間ドラマをまた皆さんへ届けられる様に精進致します。

〈喜安浩平〉（皆城総士役）

ついに!新作「蒼穹のファフナー THE BEYOND」の制作が決定しましたが、今のお気持ちを聞かせて下さい。

有本様いただくまで、本当に制作されるのか、私のキャラクターがどういったものなのか、どのキャラクターがいて、どのキャラクターがいないのか、誰かが本当はまったり軟禁されたりしないのか、なにもわからないので、心静かに待っていようと思います。

沢山のシーズンがある「蒼穹のファフナー」ですが、初めて観る方へ何かアドバイスをいただけますでしょうか。

最初のシリーズは、まず最初の6話まで付き合ってください。そこまで付き合ってくれたら、次回、次次回と気になって、気がつけば最終回になっています。次に「RIGHT OF LEFT」を見てください。もう、他のシリーズも全部見たいと思っていることでしょう。全てを見終わったあとは、お好きなようにお好きなシーンを解釈なさってください。終わりはありません。用です。

ご自身にとって「ファフナー」とはどのような存在でしょうか。

存在というか、存在と無の地平線における、永遠の循環的ななにか。

最後に、作品を楽しみにしているファンの方へのメッセージをお願いします!

しっかり心の準備をしておいてください。私も、心身ともに整えて、あの世界に帰ってこようと思います。皆の帰る場所のために。

© XEBEC・FAFNER BEYOND PROJECT